●株主の皆様へ●

第53期 第2四半期報告書

2012年3月1日▶2012年8月31日

証券コード：9945

株式会社プレナス

Plenus

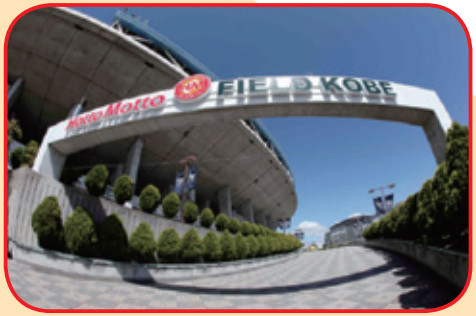
人びとの満足・笑顔・感動をもっと。

**プレナスグループは人びとの生活に密着した食のビジネスを営む企業グループとして、
人びとを元気にしてくれるスポーツの振興活動を積極的に行っています。**

「なでしこリーグ」のトップパートナー

プレナスは、多くの女性に支えられており、もっと多くの女性が活躍できる社会の実現をめざすとともに、世の中のがんばる女性を応援したいと考え、2008年より「なでしこリーグ」のトップパートナーを務めています。

Plenus Group



「ほっともっとフィールド神戸」ネーミングライツ

2011年2月神戸総合運動公園野球場を地域の皆さまにとって、ほっとする場所、また熱く盛り上がれる場所となれるよう願って「ほっともっとフィールド神戸」と名づけました。

地域社会のスポーツ支援

プレナスは、もっと人びとをすこやかにしたいという思いから、スポーツ支援活動を行っています。例えば、宮崎県で毎年開催される小学生バレーボール大会「ほっともっと杯」は、20年にわたり支援を続けている大会で、地元の小学生チームが県内ナンバー1を目指す歴史ある大会となっています。

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

わが国経済は当期に入ってからもなお先行き不透明な状況で推移しております。そうした中で、当社グループは当上半期においても増収増益を確保することができました。

景気低迷や競争激化など経営環境は下半期以降も厳しい状況が続くものと思われますが、当社グループは引き続き新規出店と店舗収益力を向上させるための施策を推し進めてまいります。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　**塩井　辰男**

トップ・インタビュー

Q1　上半期における業績はいかがでしたか？

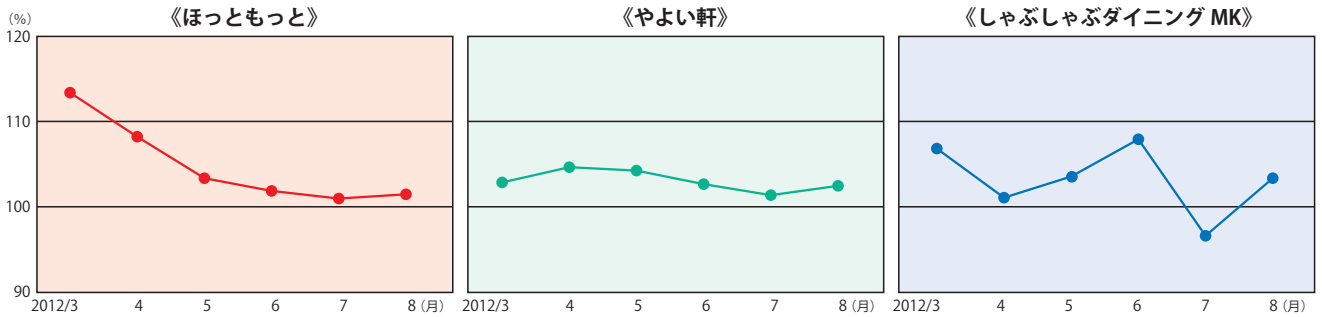
▶ 新規出店に加え、既存店が好調に推移したことから増収増益となりました。

上半期の外食産業におきましては、昨年 3 月の震災の影響の反動等もあり、個人消費が緩やかに回復しつつありますが、家計の負担増等に対する先行き不安感等もあり、厳しい事業環境が続いております。

そのような中にあって、上半期の「ほっともっと」、「やよい軒」、「しゃぶしゃぶダイニングMK」の既存店売上高は、3ブランド共に総じて前年同月実績を上回りました。（下記グラフ参照。）これは、各ブランドにおける商品開発をはじめとした各種施策が多くのお客様から支持を得た結果であると考えております。

また、国内の店舗数については、新規出店 94 店舗、退店 19 店舗を行った結果、前期末に比べ 75 店舗増の 2,857 店舗となりました。併せて、店舗の魅力を維持・向上させるために改装・移転についても積極的に行い、56 店舗を実施しました。

■ 3ブランドの既存店売上高前年比推移



これらの結果、上半期の連結業績は、売上高が前年同期比13.5％増の694億20百万円、営業利益が同2.9％増の27億50百万円、経常利益が同2.3％増の29億91百万円、四半期純利益が同192.3％増の16億23百万円の増収増益となりました。なお、四半期純利益は、前年同期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失を計上したこともあり、大幅な増加となりました。

■ セグメント別の状況

	ほっともっと事業	やよい軒事業	しゃぶしゃぶダイニングMK事業
売上高（百万円）	57,981	9,945	1,491
既存店売上前年比（%）	104.7	103.0	103.1
営業利益（百万円）	2,470	334	33
出店数	75	16	3
退店数	△16	△1	0
店舗数（上半期末）	2,625	205	27

Q2 「ほっともっと事業」における既存店好調の理由は何でしょうか？

▶ 目的を明確に定めた商品施策が効果を発揮し、客数・客単価共に上昇しました。

当社は、多くのお客様の支持をいただいている定番商品を中心に、客数アップと客単価アップのための商品施策を展開しております。

具体的には“客数アップ”の施策として、中高年層のお客様のニーズにも対応した「幕の内弁当」の需要を更に高めるため、炊き込みご飯無料変更サービスを実施すると共に、女性やヘルシー志向のお客様のニーズに対応した「花・幕の内弁当」を発売しました。また、「塩から揚弁当」を改めてお客様に訴求することを目的としたキャンペーンを実施する等、定番商品の売上向上に努めました。一方、“客単価アップ”のための施策として、高単価商品の「新・ビーフステーキ弁当」を開発しました。

こうした施策効果によって、「ほっともっと」の客数・客単価は現在、共に順調な上昇傾向をたどっており、上半期の既存店売上高は、前年同期比104.7%となりました。

「ほっともっと事業」では、これらの施策の実施により売上高の増加を図りながら、今後も積極的な出店を継続し、2014年2月末までに3,000店舗の達成を目指してまいります。

■ 客数・客単価アップのための商品施策

客数アップのための施策

顧客層拡大＆来店頻度向上

- 幕の内弁当炊き込みご飯
- 花・幕の内弁当　　等

×

客単価アップのための施策

施策の対象となるターゲットにとって魅力ある商品を提案

- 新・ビーフステーキ弁当

Q3 「ほっともっと事業」で、新たに始めた「ユニットFC制度」とは、どのようなものでしょうか？

▶ 加盟者の開業資金の負担やリスクを抑えた新しいフランチャイズ制度です。

当社は、2008年5月の「ほっともっと」ブランド創設以来、近畿・東海地区を中心とした新規エリアへの出店及びシェア回復を目的に積極的な出店を推進してまいりました。積極的な出店により店舗数が増加したことやブランドを浸透させるための施策により、店舗の平均月商、ブランドの認知度共にアップし、「ほっともっと事業」は順調に成長してきました。更なる「ほっともっと」チェーンの発展のため、フランチャイズ展開の強化を目的とした『ユニットＦＣ制度』を5月に導入しました。

『ユニットＦＣ制度』は、開業時に当社が店舗の建物や設備を準備して、加盟者にお貸しする新しいフランチャイズ制度です。加盟者にとっては、開業時における高額な設備投資が発生せず、少額の開業資金で店舗運営が開始できます。また、将来にわたり店舗を買い取る必要がないため、投資リスクを抑えた制度となっています。

今後は、この新しい制度を利用した新規加盟者の募集と既存加盟者の多店舗化を推進することで加盟店舗数の増加と既存加盟店の活性化を図り、「ほっともっと事業」をこれまでの直営店中心の事業から、加盟店中心の事業に転換してまいります。

直営店中心から、加盟店中心の店舗展開への転換を目指し、加盟者の事業意欲をさらに刺激する新しいFC制度を構築

ユニットFC制度

少額資金による開業
- 店舗は本部が建てて保有
- 加盟店はこれをレンタル（買取りの義務なし）
- 加盟金・保証金等含め270万円からの低投資で開業が可能

充実の支援体制
- 店舗運営の基礎から経営者としてのスキルを事前にじっくり研修
- 開業後の財務サポート体制も充実

Q4 「やよい軒事業」の状況はいかがでしょうか？

▶ 順調に成長を続けており、300店舗を目指して今後も出店を加速していきます。

現在、「やよい軒」は、店舗数及びその伸び率、1店舗当たりの店頭売上高はいずれも和食の定食チェーンの中でトップクラスの水準にあり、上半期において200店舗体制を達成することが出来ました。また、「ほっともっと」とのシナジーにより、食材仕入等の共有化を図ることで、高いコスト競争力を実現しております。

上半期においても、季節ごとの商品投入、きめ細やかなキャンペーンの実施等により固定客増加につなげております。客数・客単価共に順調に伸長してきた結果、既存店売上高は、前年同期比103.0%となりました。

今後も2014年2月末までに300店舗の達成を目指して、積極的な出店を継続してまいります。

Q5 「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」の取り組み状況はいかがですか？

▶ ブランド認知度を高めつつ、積極的な出店を継続して、「ほっともっと事業」、「やよい軒事業」に続く柱とすることを目指してまいります。

「しゃぶしゃぶダイニングMK」につきましても、事業を拡大すべく、取り組みを強化しております。タッチパネルによるセルフオーダーシステムを導入した効率的な店舗オペレーションのもと、ランチや食べ放題など充実したメニューをリーズナブルな価格で提供することで、幅広い層のお客様にご利用いただいております。

上半期も引き続き店舗のQSCの更なる向上に努めると共に、カード会員向けに販売促進活動を行う等、お客様の来店促進を図った結果、既存店売上高は103.1%となりました。

また、積極的な出店を開始し、従来の九州に加え、関東・中国エリアにも出店しております。併せてテレビCMの活用も進め、知名度の向上を図っていきたいと考えております。これらにより、2014年2月末までに50店舗の達成を目指して、積極的な出店を継続してまいります。

豊富な具材といろいろな食べ方で楽しむしゃぶしゃぶ

『フライ油リサイクルシステム』を関東エリアに拡大

地球環境に対する関心が世界中で高まっている中、プレナスは「ほっともっと」、「やよい軒」で使用済みのフライ油をバイオディーゼル燃料に精製し、配送トラックの燃料として再利用する「フライ油リサイクルシステム」を展開しております。

2007年10月、九州・山口エリアにおいて「フライ油リサイクルシステム」を導入し、本年10月より新たに関東エリアでも取り組みを開始しました。これにより、来年には年間約120万ℓのバイオディーゼル燃料を使用し、約3,140tのCO_2の排出量の削減を目指してまいります。

プレナスは、これからも地球環境問題に取り組んでまいります。

「バイオディーゼル燃料」とは？

「バイオディーゼル燃料」とは、ディーゼルエンジンを稼働させることの出来る軽油代替燃料。石油から製造するディーゼル燃料が燃焼時に地球上の二酸化炭素を増加させるのに対し、バイオディーゼル燃料は、原料の植物が成長過程の光合成で二酸化炭素を吸収しているので、地上の二酸化炭素の絶対量を増加させない、地球にやさしい燃料であるといわれています。

東日本エリアを賄う「関東プレナスステーション」が稼動開始

東日本エリア初のバイオディーゼル燃料給油所「関東プレナスステーション」が、埼玉県にある杉戸物流センター敷地内に完成し、10月4日より、関東エリアの店舗へ商材を配送するトラックの燃料の供給を開始しました。

完成した関東プレナスステーション

上半期の商品・キャンペーンのご紹介

Hotto Motto ほっともっと

2012年

3月

幕の内弁当『炊き込みご飯無料変更サービス』

ご飯を無料で炊き込みご飯（たけのこご飯）に変更できるサービスを実施。

4月

『花・幕の内弁当』新発売

ヘルシー志向の低カロリー商品。

5月

『「ほっともっと」塩から揚弁当拡販キャンペーン』

すっきりとした塩味で鶏肉本来の旨みが楽しめる「塩から揚弁当」。AKB48のメンバーとのコラボレーション。

ごはん処 やよい軒 YAYOIKEN

『とろろ汁ととり天の定食』新発売

味噌の風味をきかせた「とろろ汁」とサクサクとした衣のジューシーな「とりの天ぷら」のおいしい定食。

『回鍋肉定食』・『黒酢酢豚定食』新発売

厚切り豚肉とたっぷりの野菜を炒めた「回鍋肉」とワンタンスープを組合わせた「回鍋肉定食」。黒酢をきかせた「黒酢酢豚」と「麻婆豆腐」を組合わせた「黒酢酢豚定食」。

アジアを中心に、海外店舗拡大中

全世界で

ほっともっと **2,631** 店

やよい軒 **287** 店

しゃぶしゃぶ ダイニングMK **27** 店

合計 **2,945** 店

中国　ほっともっと5店舗

韓国　ほっともっと1店舗

タイ　やよい軒 80店舗

シンガポール　やよい軒2店舗

（2012年8月31日現在）

6月

『焼肉ビビンバ』新発売

たっぷりの焼肉、キムチ、ナムルを本格的な辛さのビビンバのたれとかき混ぜて食べる、夏の定番メニュー。

7月

『"一緒に、食べよ。" キャンペーン』

第一弾は、暑い夏にガッツリ食べるにはぴったりの「新・ビーフステーキ弁当」。第二弾は、「てりやきハンバーグ弁当」と「デミハンバーグ弁当」の、2つの味が選べる「ハンバーグ弁当」を発売。

8月

『新・デラックス弁当』新発売

メンチカツ・エビフライ等、洋食屋さんの人気メニューを贅沢に詰めたお弁当。

『冷汁ととり天南蛮の定食』新発売

冷たい味噌仕立ての「冷汁」とタルタルソースをたっぷり添えたサクッとふんわりの「とり天南蛮」の組み合わせ。

『ひつまぶし定食』新発売

夏のスタミナ食として定番のうなぎ商品に、今年は名古屋で有名な「ひつまぶし」の定食を追加。

『アジの開き定食』新発売

夏に旬を迎えるアジを開きにした、焼き魚メニュー。

やよい軒

やよい軒でも「モバイル会員サービス」を開始

携帯電話にて会員登録していただいたお客様に、新商品・キャンペーン等のオトクな情報や、店舗で使える限定クーポンをメールで配信するサービスです。

会員登録は
とっても簡単!
QRコードから今すぐ
アクセス!

※通信料はお客様のご負担となります。

※迷惑メール対策としてドメイン指定をされている方は「@ plenus.co.jp」からのメールを受信できるよう設定してください。

※一部機種はサービスをご利用になれません。ご了承ください。

しゃぶしゃぶダイニング エムケイ

ご存知ですか、「MK ソース」を？

生まれは、タイの「MK RESTAURANTS」

秘伝のソースのため、レシピを知るのは、MKグループ全体でたった3人！

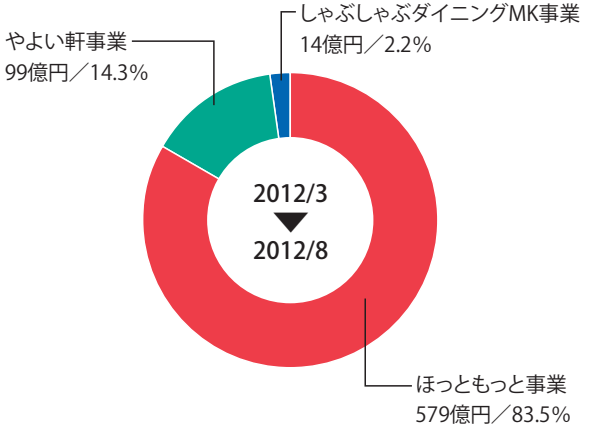
チリソースとオイスターソースに30種類もの香辛料をブレンドした、オリジナル。1度口にしたら、クセになる秘伝のソース。

1993年からおよそ20年も愛されています。是非、「しゃぶしゃぶダイニングMK」のお店でお楽しみください。

ぽん酢、ごまだれ、スープ、きざみネギ、おろしニンニクやパクチー。卓上にあるソースや薬味を加えて、あなただけの味に挑戦してみてください。まだ、誰も発見していないあなただけの「うまい！」が、きっと見つかるはずです。

事業の概況と事業別の状況

事業別売上高構成比（連結）



ほっともっと事業

フランチャイズチェーンシステムにより、つくりたてのあたたかいお弁当を持ち帰り方式で販売する「ほっともっと」店舗を全国的に展開し、加盟店に対して食材・包装等資材及び事務機器（保守・修理含む）を販売すると共に、加盟店よりロイヤリティ、その他の収入を得ております。また、直営店にて持ち帰り弁当類の販売を行っております。

なお、店舗数は 2,625 店舗（2012年8月31日現在）となっております。

売上高

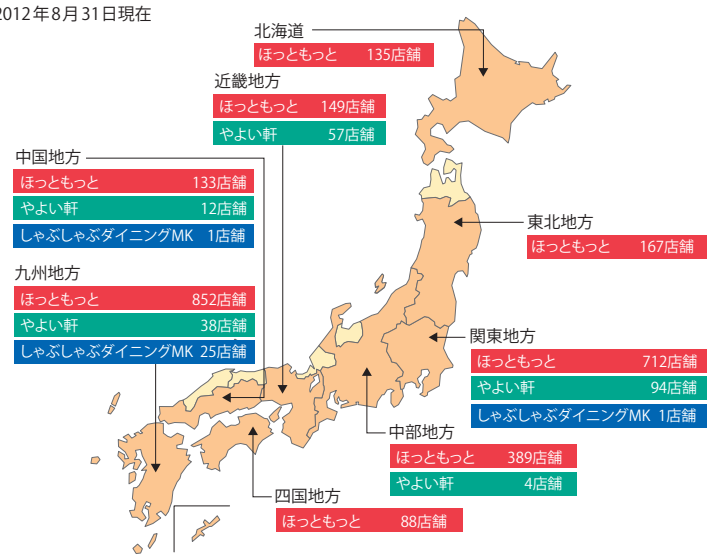
579 億 81 百万円
（前年同期比 ＋12.8%）

営業利益

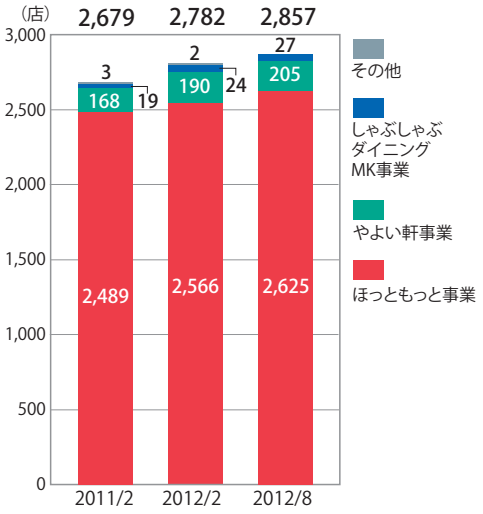
24 億 70 百万円
（前年同期比 ＋ 6.7%）

当社グループの店舗展開エリア及び店舗数

2012年8月31日現在



事業別店舗数の推移（連結）



注）上記国内店舗のほか、海外店舗数は、2012年8月31日現在、「ほっともっと」6店舗（中国5・韓国1）、「やよい軒」82 店舗（タイ80・シンガポール 2）となっております。

やよい軒事業

定食類を店内飲食方式にてお客様に提供する「やよい軒」店舗を全国的に展開しております。直営店での販売のほか、加盟店に対して食材・包装等資材を販売すると共に、ロイヤリティ、その他の収入を得ております。

なお、店舗数は205店舗（2012年8月31日現在）となっております。

売上高

99億45百万円

（前年同期比 ＋16.5%）

営業利益

3億34百万円

（前年同期比 △20.8%）

しゃぶしゃぶダイニングMK事業

連結子会社（株）プレナス・エムケイがタイのレストランチェーンであるMK RESTAURANT CO., LTD. と提携し、しゃぶしゃぶをメインに、飲茶等をリーズナブルな価格で提供する「しゃぶしゃぶダイニングMK」を運営しております。

なお、店舗数は27店舗（2012年8月31日現在）となっております。

売上高

14億91百万円

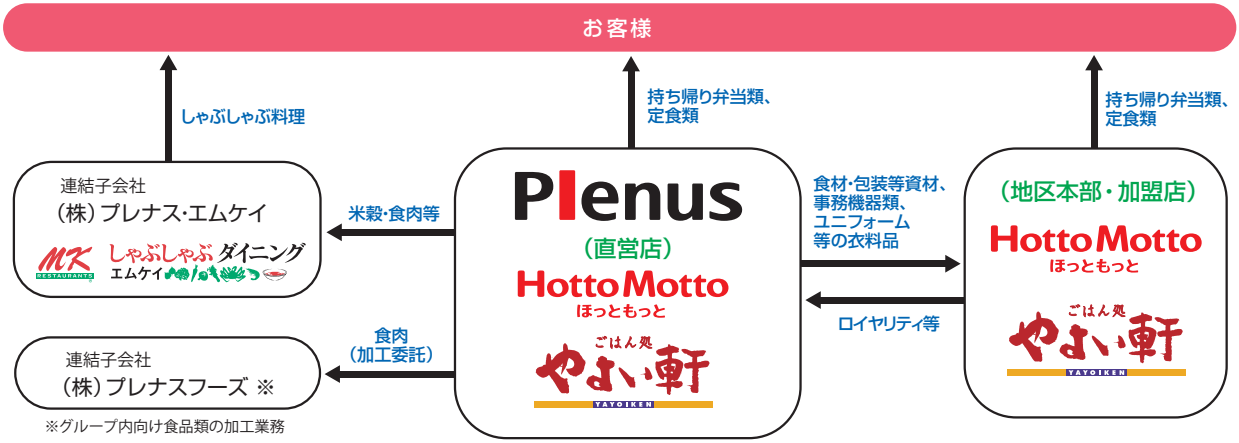
（前年同期比 ＋32.3%）

営業利益

33百万円

（前年同期 △19百万円）

企業集団等の状況



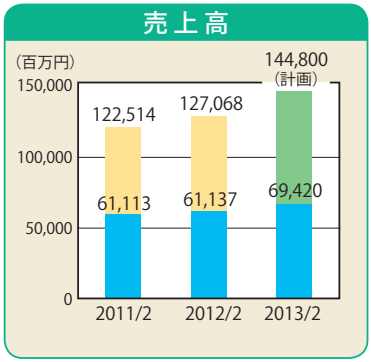
●上記以外のグループ会社　国内…（株）九州トーヨー／（株）フーディフレーバー
海外…北京好麦道餐飲管理有限公司／PLENUS & MK PTE.LTD. ／YK Food Service Co., Ltd.

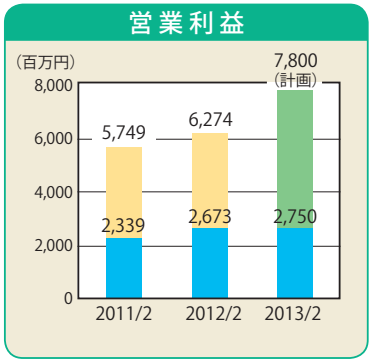
損益の状況

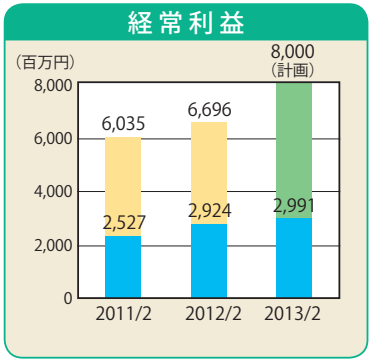
企業間の競争激化等、厳しい事業環境が続いておりますが、増収増益を確保することができました。

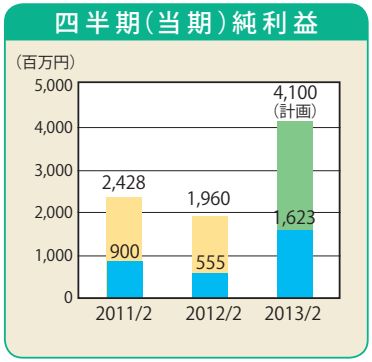
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	694億20百万円	27億50百万円	29億91百万円	16億23百万円
前年同期比	＋82億83百万円（＋13.5%）	＋76百万円（＋2.9%）	＋67百万円（＋2.3%）	＋10億67百万円（＋192.3%）

通期　通期（計画）　第２四半期









●事業環境

当第２四半期連結累計期間における外食産業の環境は、昨年３月の震災の影響の反動等もあり、個人消費が緩やかに増加したものの、企業間の競争激化、家計の負担増等に対する先行き不安感等から、厳しい事業環境が続いております。

●売上高

３事業すべてで既存店売上高が前年同期を上回ったこと、店舗数が増加したこと等から、売上高は694億20百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

●営業利益・経常利益

米材など仕入コストの増加等があったものの、売上高の増加により、営業利益は27億50百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益は29億91百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

●四半期純利益

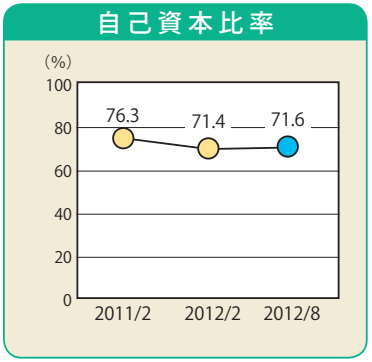
四半期純利益は16億23百万円（前年同期比192.3%増）となりました。前年同期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失（16億43百万円）を計上したこともあり、大幅な増加となりました。

財政状態

店舗数の増加に伴って総資産が増加する中、有利子負債ゼロ、自己資本比率 70%以上の安定した財務状態を確保しております。

	総資産	負債	純資産	自己資本比率
	792億54百万円	223億59百万円	568億94百万円	71.6%
前期末比	+7億49百万円	+39百万円	+7億9百万円	+0.2ポイント

通期　第２四半期



●総資産

流動資産が減少する一方で固定資産が増加したことから、総資産は前期末に比べ 7 億 49 百万円増加し、792 億 54 百万円となりました。流動資産の減少は、現金及び預金が 14 億 94 百万円減少したこと等によります。固定資産の増加は、有形固定資産が 15 億 55 百万円増加したこと等によります。

●負債

流動負債が減少する一方で固定負債が増加したことから、負債は前期末に比べ 39 百万円増加し、223 億 59 百万円となりました。流動負債の減少は、支払手形及び買掛金が 8 億 1 百万円増加する一方で、未払金が 4 億 54 百万円、預り金が 4 億 65 百万円減少したこと等によります。固定負債の増加は、資産除去債務が 1 億 83 百万円増加したこと等によります。なお、当社には借入金などの有利子負債はありません。

●純資産

四半期純利益により利益剰余金が 16 億 23 百万円増加する一方で、剰余金の配当により 9 億 55 百万円減少したこと等により、純資産は前期末に比べ 7 億 9 百万円増加し、568 億 94 百万円となりました。

●自己資本比率

自己資本比率は 71.6%（前期末に比べ 0.2 ポイント向上）と安定性の高い状況を確保しております。

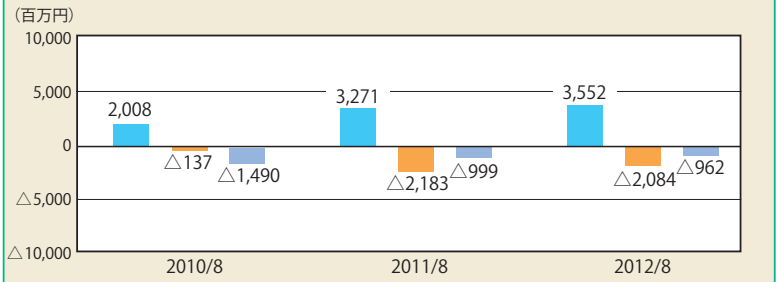
キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金が増加し、フリーキャッシュ・フローも10億円以上の水準を確保しております。

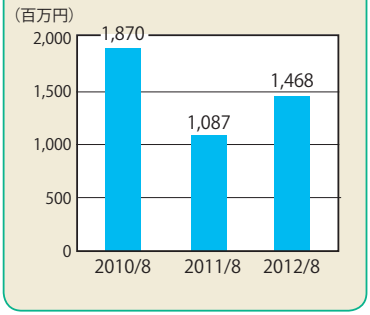
	営業キャッシュ・フロー	投資キャッシュ・フロー	財務キャッシュ・フロー
	35億52百万円の収入	20億84百万円の支出	9億62百万円の支出
前年同期比	＋2億80百万円	＋99百万円	＋37百万円

営業活動キャッシュ･フロー　投資活動キャッシュ･フロー　財務活動キャッシュ･フロー

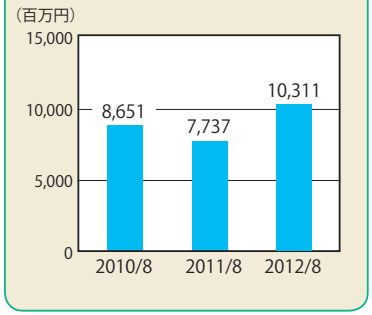
キャッシュ・フロー



フリーキャッシュ・フロー※



現金及び現金同等物の四半期末残高



※フリーキャッシュ・フロー＝営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー

当第２四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末比５億５百万円増加し、103億11百万円となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、35億52百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益28億84百万円、減価償却費20億94百万円、仕入債務の増加額８億１百万円、法人税等の支払額15億40百万円です。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、20億84百万円となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出80億円及び定期預金の払戻による収入100億円、有形固定資産の取得による支出37億27百万円です。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、９億62百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払いによる支出９億54百万円です。

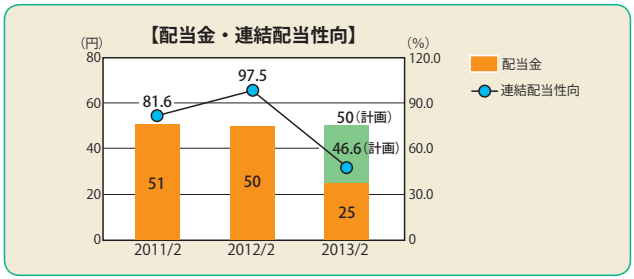
●フリーキャッシュ・フロー

フリーキャッシュ・フローは、企業の成長に欠かせない投資を行うために使うことができる余剰資金の増減状況を判断する指標です。当第2四半期累計期間においては、営業活動の結果得られた資金が投資活動の結果使用した資金を上回り､14億68百万円となりました。

配当金と連結配当性向

配当に関しては、年間配当 50 円以上の実施を基本とし、連結ベースでの年間配当性向 30%を基準に配当することにしております。

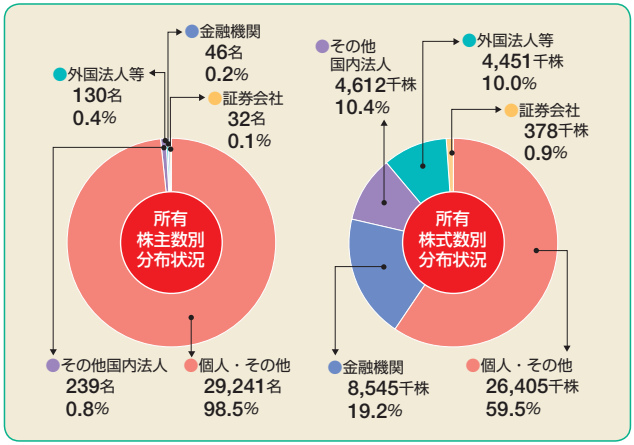
当第 2 四半期の配当金は、1株につき 25円とさせていただきました。



株式の状況（2012年8月31日現在）

発行可能株式総数 …… 92,568 千株
発行済株式の総数 …… 44,392 千株
株主総数 …… 29,688 名

株主数・株式数分布状況（2012年8月31日現在）



＊個人・その他には、自己名義株式 1 名、6,182 千株（13.9%）を含んでおります。

会社概要（2012年8月31日現在）

商　　号	株式会社プレナス （英文名 PLENUS Co., Ltd.）
創　　業	1960 年 3 月
設　　立	1976 年 11 月
資 本 金	3,461,130,361 円
本　　社	福岡市博多区上牟田一丁目 19 番 21 号
従業員数	1,423 名 上記従業員のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は 7,584 名（1日 8時間換算）であります。

役　　員（2012年8月31日現在）

取締役会長（代表取締役）	塩井　末幸
取締役社長（代表取締役）	塩井　辰男
取締役副社長（代表取締役）	本川　嘉史
専務取締役	塩井　高明
取締役	井上　達雄
取締役	鈴木　博
取締役	大楠　泰弘
取締役	田渕　豪
取締役	立花　英信
取締役	布山　稔
取締役	金子　史朗
常勤監査役	松永　宏昭
常勤監査役	高橋　勉
監査役	村田　純一
監査役	礒山　誠二
監査役	吉戒　孝

株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	5月中
株主確定日	
定時株主総会	2月末日
期末配当	2月末日
中間配当	8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。（当社ホームページに掲載。）但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
郵便物送付先及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 電話 0120-288-324

株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き（住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等）のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先

お取引のある証券会社等へお問合せください。

■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先

みずほ信託銀行株式会社（特別口座管理機関）へお問合せください。
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
電話 0120-288-324

※未払い配当金について
未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

株主優待制度について

(1) 対象となる株主様

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

(2) 優待の内容

毎年2月末日の対象株主様に、当社グループ店舗で使用可能な株主様限定の『株主お買物優待券』を贈呈いたします。（年1回）

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	500円『株主お買物優待券』（5枚）
1,000株以上	500円『株主お買物優待券』（10枚）

(3) 贈呈の時期

5月下旬にご送付いたします。

株主お買物優待券見本

当社の株主優待制度は、持ち帰り弁当チェーン「ほっともっと」をはじめ、定食チェーン「やよい軒」、及びレストランチェーン「しゃぶしゃぶダイニングMK」で『株主お買物優待券』をご利用いただける制度です。

なお、本年3月1日から始まる第53期より株主優待制度を一部変更させていただきました。詳細は本報告書同封の「株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

当社グループ店舗をご利用いただき、当社グループの商品・サービスに対するご理解を深めていただければ幸いです。

お問合せ先

株式会社プレナス　経営管理室

〒812-8580　福岡市博多区上牟田一丁目19番21号　TEL.092-452-3678
ホームページアドレス　http://www.plenus.co.jp/